

日時：平成15年3月28日(金) 12:30~13:00

場所：アルカスSASEBO B会場

出席者数：20名~30名程度

1. 山脇部会長の挨拶

今年度は核燃料セミナー、春の年会及び秋の大会における特別セッションを主たる活動として行った。

部会報は従来通り年2回発行した。

特筆すべき事として核燃料関係における国際的な研究協力の進展が今年進んだことが挙げられる。

日米間の部会協力協定に調印、日米欧で核燃料における国際会合を毎年3極持ちまわりで主催する協定に原子力学会長名で調印、更に昨日実施の日韓中の燃料・材料に関するシンポジウムは3回目で東アジア3国間の協力を更に進めることで当事者間の折衝が進んでいる。

核燃料部会の活動について、説明しご承認を頂きたい。

2. 総会資料説明

松本庶務幹事より以下の活動報告及び今後の活動計画の報告を行った。

2.1 活動報告

(1)会報：第38号(平成14年12月発行)

(2)総会：平成14年9月14日(土) 於、いわき明星大学

平成15年3月28日(金) 於、アルカスSASEBO

(3)部会企画セッションプログラム

・秋の大会時(いわき明星大 平成14年9月) 都合により中止

「中国の核燃料サイクルの開始」原産、前サイクル機構北京事務所長 永崎隆雄

・春の年会時(アルカスSASEBO 平成15年3月27日13:00~18:00)

(核燃料、材料、核融合工学部会合同) 燃料・材料に関する日韓中シンポジウム

(4)運営委員会：平成15年1月24日(金) (平成15年第1回)

平成15年3月28日(金) (平成15年第2回)

(5)燃料部会 平成14年度決算見込み、平成15年度予算案

総会資料は平成15年度部会予算は従来通り年2回部会報発行(発送費込みで492千円)の支出内容となっているが、部会の学会配布金が277千円(平成14年度395千円)に削減され、セミナー残金も平成14年度実績並(平成14年度予算320千円、実績70千円)しか見込めず、不足金205千円を平成14年度末越金で補填すると、平成15年度末越金予想は46千円になり、早急に対策を取る必要がある。

また、この中には春の年会での支出は不明のため含んでおらず、その分が更にマイナスされる。

一方、核燃料、材料、核融合工学部会合同の燃料・材料に関する日韓中シンポジウム/セミナーは好評で今後継続して行く必要があり、昨日の費用は他部会の配慮により、当部会は2万円位の負担で良いことになったが、今後は応分の負担が必要となる。

そこで、支出の大半である年2回部会報発行を、平成15年度から年1回とすることを総会に提案することが総会前の運営委員会で決まった。

その発行月は、委員の任期を年から年度に変更を検討した時に6月発行の部会報担当の引継ぎが一番問題であったため、1年の活動報告として12月発行とする。

総会資料は修正版の準備が間に合わないので、口頭で修正点を含め説明させて頂くので、ご理解を頂き総会でご承認を取得したい。

(6)第19回総会以降の運営委員の交代、新任

[副部会長交代](日本原子力産業会議)大井 昇 氏 → (NFI)森 一麻 氏

[委員交代](NFI)小林 慎一 氏 → 森 一麻 氏 [H15年第20回総会后上記に連動]

(7)今後の運営委員の任期変更

従来の任期は1月から12月になっていたが、部会長、副部会長等の重要人事の交代は総会の承認事項となっているため、総会承認までは継続してその任を果たして頂いていた。

今後は全運営委員の任期を4月から3月の年度に変更し統一化を図りたく、ご理解を頂き総会でご承認を取得したい。

(8)運営委員の業務担当交代

担当	平成14年担当者	平成15年担当者 *
広報 ホームページ 部会報	[京大] 森山委員 [JNC] 河野委員 [関電] 後藤委員	[阪大] 山中委員 [JNC] 河野委員/庶務幹事 [四電] 坂井委員
国際活動	大井副部会長、[電中研] 木下委員、 [NUPEC] 林氏	森副部会長、[電中研] 木下委員、 [NUPEC] 林氏
国内企画(横断活動、年会 時企画)	[東北大] 塩川委員、[NFD] 緒方委員	[東大] 寺井委員、[NDC] 和田委員
庶務幹事(財務含む)	[九大] 杉崎委員、[GNF-J] 伊東委員	[京大] 森山委員、[MMTL] 松本委員
夏期セミナー幹事	[東大] 寺井委員、[JNC] 河野委員	[名大] 松井委員、[原研] 上塚委員

*平成15年担当者は上記の運営委員の任期変更承認取得後は平成15年度末までの担当となる。

2.2 今後の活動計画

(1)会報:第39号(平成15年6月発行予定)

(2)第18回核燃料・夏季セミナー:

平成15年7月10日(木)～12日(土)(於、新潟県妙高パインバレー ロイヤルパインズホテル)

(3)総会:平成15年9月24日(水)～26日(金)(於、静岡大学)秋の大会時

(4)運営委員会:平成15年第3回運営委員会:第18回核燃料・夏季セミナー時

平成15年第4回運営委員会:平成15年秋の大会時

3. 総会での承認

山脇部会長より上記報告中の総会で承認を取得したい下記提案

山脇部会長より上記報告中の総会で承認を取得したい下記提案3点について確認が行われた結果、意義なく承認された。

- ・ 財政難より部会報を平成15年度から年1回12月発行(従来は年2回)に変更を含め予算案の承認
- ・ 副部会長(日本原子力産業会議)大井 昇氏から(NFI)森 一麻氏へ交代の承認
- ・ 全運営委員の任期を年から年度に変更承認(規約上任期は明記されていないが運営上重要な変更なので承認取得)

4. 大井副部会長の国際協力について報告および退任挨拶

大井副部会長より、最近の国際協力活動について下記の報告および退任の挨拶があった。

国際協力活動については、部会長の最初の挨拶にあったように3つの目玉がある。

1つ目は、日、アジア、欧州、米国間での軽水炉燃料に関する会議を持ちまわりで主催について、2005年10月上旬に日本で開催することが決まり、これから大変な事になってくる。組織委員長に日本原電の出沢さんになって頂き、プログラム委員長には山脇先生になって頂き、4月から実務上色々なことが発生してくるので、皆様のご協力を宜しくお願いしたい。

2つ目は、日韓中セミナーが昨日あったが、韓国とは毎年実施しようという事になっていて、今年の秋は韓国、来年の春は日本と相互乗り入れでスティムレイティングパートナーとなり今回3回目となる。

3つ目は、日米間で、大切な日米間なのでベースとしてキッチリやろうということになっている。

副会長は本日で退任であるが、1年半前に山脇先生から急に呼び出され、国際関係を何とかしろと言われて、バックアップして今まで進めてきた。

今後はかなり強力な森さんが後任になって頂けるので安心して退任出来る。

今までの皆様のご協力に感謝致しますと退任の挨拶があった。

5. 大井副会長退任にあたっての山脇部会長謝辞

山脇部会長より、大井副会長はIAEAで8年間燃料部長をされ、国際的な活動経験をお持ちで、且つ顔も広いということで国際関係に期待通りの活躍を頂いた。日米、日米欧、日韓、日韓中と国際協力関係の発展は大井さんの貢献が大きく、この場で感謝の気持ちを拍手で表明したいと謝辞があった。

その後、出席者全員で感謝の気持ちを拍手で表明し総会を終了した。

以上

過去の総会議事録の一覧はこちらです。

[過去の総会議事録一覧](#)

[もどる](#)